

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	カネエ豊田食品工場 新築工事		階数	地上2階
建設地	愛知県豊田市生駒町立入57番1 1		構造	S造
用途地域	市街化調整区域		平均居住人員	200 人
気候区分	6地域		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所・工場		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月	予定	評価の実施日	2018年2月1日
敷地面積	22,169 m <sup>2</sup>		作成者	河合あかね
建築面積	11,148 m <sup>2</sup>		確認日	2018年2月1日
延床面積	21,455 m <sup>2</sup>		確認者	近藤誠治



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.5** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 89%  
③上記+②以外の 89%  
④上記+ 89%

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.0

**LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.4</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">###</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">26.0 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.7</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">###</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮  
②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



<b>3 対応性・更新性</b>				3.3	0.29			-	3.3
3.1 空間のゆとり				4.2	0.31			-	
1 階高のゆとり			階高1階5.95m、2階5.2m	5.0	0.60			-	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40			-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31			-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			-	
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.21			-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.21			-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.14			-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.14			-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.29			-	
6 バックアップスペースの確保				-	-			-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.39			-	2.0
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30			-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		2.0	0.40			-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30			-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50			-	
3.2 敷地内温暖環境の向上				2.0	0.50			-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									2.8
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40			-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			外壁は遮熱塗料角波サイディングt0.5	3.0	0.02			-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28			-	3.0
3 設備システムの高効率化				2.9	0.42			-	2.9
4 効率的運用				3.0	0.28			-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00			-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50			-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50			-	
集合住宅の評価				-	-			-	
4.1 モニタリング				-	-			-	
4.2 運用管理体制				-	-			-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30			-	2.7
1 水資源保護				3.0	0.15			-	3.0
1.1 節水			節水型便器を採用する	3.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.5	0.63			-	2.5
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.21			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	1.0	0.21			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		3.0	0.25			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22			-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			有害物質を含まない取組が9つ	3.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68			-	
1 消火剤				-	-			-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	1.00			-	
3 冷媒				-	-			-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30			-	2.6
1 地球温暖化への配慮		①	外壁に遮熱塗料を使用します	3.4	0.33			-	3.4
2 地域環境への配慮				2.4	0.33			-	2.4
2.1 大気汚染防止			燃焼機器を使用しません	3.0	0.25			-	
2.2 温暖環境悪化の改善				2.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25			-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25			-	
3 交通負荷抑制		独自		3.0	0.25			-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮				2.1	0.33			-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			-	
1 騒音		独自		3.0	0.50			-	
2 振動		独自		-	-			-	
3 悪臭				3.0	0.50			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				1.6	0.40			-	
1 風害の抑制				1.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制				-	-			-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				1.6	0.20			-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				1.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			-	

**重点項目スコアシート**

カネスエ豊田食品工場 新築工事

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.4</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.7</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>2.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.12	外構緑化:26%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 カネスエ豊田食品工場 新

計画上の配慮事項	
総合	24時間稼働の食品加工工場である。食品の鮮度を保つためできるだけ冷蔵・冷凍機器のランニングコストがかからないように配慮している。
Q1 室内環境	2階事務所エリアは床にネダフォームを敷き込み、冬場の床の冷え対策を行う。
Q2 サービス性能	休憩室・事務室・会議室は天井高さを3m確保し、利用者の快適性につながるよう配慮した。また女子トイレにはパウダーコーナーを設けるなど、従業員のアメニティの向上に努めた。
Q3 室外環境(敷地内)	緑地を建築敷地面積に対して26.53%確保している。
LR1 エネルギー	冷蔵庫パネルの壁・天井、床下にはスタイロフォームを敷き込むことで食品加工工場を計画。結露のおそれのある箇所や常温との境界部分にはウレタンフォーム吹付を施す。
LR2 資源・マテリアル	敷地内に雨水貯留槽をもうけている。クロルピリホスを添加した建築材料は使用しない。吹付石綿及び石綿0.1%超含有の製品は使用しない。
LR3 敷地外環境	工場からの排水を集中的に処理する排水処理棟をもうけている。
その他	特になし